

4年生の様子

4年 担任 藤井 尚輝

4年生は、総合的な学習の時間に「よりよい生活のために～福祉～」についての学習をしています。1学期から学習を進めていて、1学期は高齢者の方たちにインタビューをしました。どんなことに困っているのか、どんなものがあつたらいいか、など真剣なまなざしでメモを取っていました。現在、車いすだけではなく「杖」「手押し車」など高齢者がよりよい生活を送るための福祉器具のデザインを考えています。高齢者の立場に立って、「見た目＋使いやすさ＝デザイン」を追究するために日々、児童同士でアイデアを出し合っています。また、9月には、福祉体験をするなど、高齢者の生活や介護の仕事について学びました。車いすを優しく押すことの難しさやタイヤを浮かせる大変さを感じている児童が多かったです。また、押しもらう側は怖いと感じることもありました。疑似体験では、片足・片腕が固定された状態で体育館を歩きました。高齢者の気持ちを考え、「声を掛けてあげたい。」「荷物を持ってあげたい。」など、とても温かい感想を発表していました。本やタブレットで調べるだけでなく、実際に体験をすることで得られることがあり、4年生にとって貴重な時間を過ごすことができました。企業や高齢者の方に提案する福祉器具のデザインやプレゼン内容を画用紙やタブレットを活用して仕上げているところです。完成がとても楽しみです。

何事にも一生懸命取り組む姿勢やグループで協力する姿を見て、下半期もさらに良いところを伸ばしていけるよう、努めていきます。

スピーチ大会

学力向上担当 桑原 鼓

小池小学校では、こどもたちが自分の考えを言葉で伝える力、また、人の話を受け止める力を育てることを目的に、毎年スピーチ大会を行っています。今年度は、6月に2年生が国語の学習「あつたらいいな、こんなもの」をテーマに発表しました。こどもたちは絵に描いたアイデアに説明文を書き、工夫を凝らして発表を行いました。お菓子がずっと出てくる機械や、動物と話せる機械など、こどもらしい発想の内容が発表され、会場も和やかな雰囲気になりました。

スピーチ大会は、まず学級で全員が発表し、その後、代表の児童が全校の前に立ちます。学級では、発表に向けて努力する姿が見られました。原稿を見ずに話せるよう、休み時間に練習したり、友達に聞いてもらって声の大きさなどをアドバイスしてもらったりと、一人一人が工夫して準備をしました。その姿から、仲間と学び合う姿勢も育っていることが感じられました。

体育館のステージで全校児童に向けての発表は緊張感がありますが、大勢に伝える経験が自信や達成感につながります。また、発表後に感想を述べる6年生の代表児童は、集中して聞き、よさを見つけて温かい言葉を届けています。

スピーチ大会で得た経験がこどもたちの自信や力になり、今後の学校生活にも生かされていくことを願っています。